

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		平和事業の推進			款	3	項	1	目	1	事業	13	整理番号	62		
担当部課名		区民生活部文化・交流課			係名	交流推進担当			連絡先電話番号	2284		昨年度整理番号	104		枝番号	
上位施策No・施策名		68 交流と平和の推進			予算事業区分											
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	1	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	4	政策番号	5	施策番号	3	事業コード	6	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等		(1) 杉並区平和都市宣言 (2)								
	事業の目標	区民一人ひとりが、平和都市宣言の趣旨を理解し、戦争の悲惨さや平和の尊さに対する認識を深め、世界の恒久平和に寄与する。				活動指標名(式)		(1) 平和のつどい開催日数 (2) 後援名義等使用件数								
	活動内容	平和のつどいの実施 平和のためのポスター絵画コンクールの実施 平和意識の啓発				成果指標		(代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 平和のつどいへの参加者数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 平和のためのポスター絵画コンクール応募者数 算定式・指標の説明等								
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	22年度					
指標	活動指標(1)		日	25	25	16	20	16	20	20	20	80.0	80.0			
	活動指標(2)		件	10	10	8	10	11	10	10	10	110.0	110.0			
	成果指標(1)		人	679	700	696	700	670	700	700	750	89.3	95.7			
	成果指標(2)		人	825	850	652	700	603	700	700	750	80.4	86.1			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,195	3,358	2,610	3,824	2,113	5,194	20年度予算執行率%		55.3				
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費		千円	315	242	189	785	239	292							
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.88 0.00	0.80 0.10	0.80 0.00	0.80 0.00	0.80 0.00	0.80 0.00							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	7,973	7,312	7,312	7,240	7,240	7,240							
		(内)非常勤職員分	千円	0	277	0	0	0	0							
	総事業費 + +		千円	10,168	10,947	9,922	11,064	9,353	12,434							
	単位あたりコスト (-)÷		円	406,720	437,880	620,125	553,200	584,563	621,700							
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等		千円												
		その他の補助金等		千円												
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0								
差引:一般財源 -		千円	10,168	10,947	9,922	11,064	9,353	12,434								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 62

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		平和のつどい(9月)			367
		平和のつどい(3月)			159
		平和のためのポスター絵画コンクール			219
		平和事業の連携啓発			1,351
その他()			17		

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	戦争被害者の高齢化が進んでいるため、戦争の惨禍を風化させずに次の世代に語り継ぐ必要があります。また、核兵器削減にかかる世界情勢が急速に変化しています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	原水禁署名運動発祥の地として、平和都市宣言自治体として、平和の尊さの啓発に取り組んでほしい。
	今後の予測	核兵器削減に対する世界情勢が変化している中で、自ら、平和について考え、行動する区民が増えていきます。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	左の理由または具体的内容 恒久平和の実現のため、区民の意識を啓発する事業を実施しています。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	区民団体との協働をはかり、区民ニーズに合った普及啓発や様々な平和事業を実施します。	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	平和意識を啓発していくことに受益者負担は適しません。	
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	普及啓発の方法を創意工夫します。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力]	(4) 協働等の今後のあり方 推進

評価と課題
平和都市宣言自治体として、平和の尊さの啓発事業を、関係団体と協働しながら実施しており、平和について考えるきっかけづくりを行っています。参加者はやや減少傾向にあります。今後は、さらに多くの区民に参加いただける事業企画の構築が必要です。21年度から、平和事業の中で、「北朝鮮拉致被害者家族支援」事業に取り組むこととなり、平和の尊さの啓発と共に、共感の輪を広げていきます。

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 新聞社提供のプロカメラマンの写真を展示することにより、写真パネル展に来られた方をひきつけることができました。21年度は、平和事業の新事業として、共感の輪を広げる事業の一つとして、北朝鮮拉致被害者家族支援事業を行います。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 戦争の悲惨さを次の世代に伝えていくとともに、現在、世界で起きている、平和に関する問題を取り上げ、幅広い世代の関心を高める事業を行っています。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 常に、平和に関する世界情勢を敏感に捉えて、事業に反映させます。	
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由 21年度予算枠での事業実施を考えています。	

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		国際・国内交流の推進			款	3	項	1	目	2	事業	3	整理番号	67			
担当部課名		区民生活部文化・交流課			係名	交流推進担当			連絡先電話番号	2284			昨年度整理番号	109 枝番号			
上位施策No・施策名		68 交流と平和の推進			予算事業区分												
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	元	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	4	政策番号	5	施策番号	3	事業コード	5	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理					根拠法令等		(1) 国内友好都市(名寄市・東吾妻町)との交流協定 (2) 国外友好都市(ウイロビー市・瑞草区)との交流協定								
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	文化・スポーツ・経済等、多様な分野での交流を行う。市民レベルの交流を行い、友好親善を深める。多文化との共生の実現に向け、相互理解を深める。					活動指標名(式)		(1) 国際交流事業参加者数 (2) 国内交流事業参加者数								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	交流都市(北海道名寄市、群馬県東吾妻町、ウイロビー市(オーストラリア)、ソウル市瑞草区(大韓民国)等)の訪問団の受入、代表団の派遣 交流都市が区民を対象に行う生産物即売等各種事業の支援 他課・他団体が行う交流事業への支援					成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1) 友好都市訪問者数・来訪者数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 国際・国内友好都市との交流事業参加者数 算定式・指標の説明等								
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%				
			実績		計画		実績		計画		22年度						
指標	活動指標(1)		人	3,008	3,500	3,331	3,500	3,140	3,500	3,700	84.9	89.7					
	活動指標(2)		人	1,680	2,000	1,996	2,200	1,858	2,200	2,400	77.4	84.5					
	成果指標(1)		人	864	900	785	900	951	900	1,000	95.1	105.7					
	成果指標(2)		人	1,688	1,800	1,521	1,800	1,805	1,800	2,000	90.3	100.3					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	24,523	17,746	14,960	13,723	8,163	12,399	20年度予算執行率% 59.5							
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0				特記事項							
	(内)委託費		千円	9,780	800	1,386	6,099	2,095	5,101								
	職員数(常勤 非常勤)		人	2.28 0.00	1.68 0.90	2.50 0.90	2.18 1.00	2.35 1.00	2.18 1.00								
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	20,657	15,355	22,850	19,729	21,268	19,729								
		(内)非常勤職員分	千円	0	2,493	2,493	2,800	2,800	2,800								
	総事業費 + +		千円	45,180	35,594	40,303	36,252	32,231	34,928								
	単位あたりコスト (-) ÷		円	15,020	10,170	12,099	10,358	10,265	9,979								
	財源	受益者負担分		千円	140	560	560										
		国からの補助金等		千円	0	0	0										
		都からの補助金等		千円													
その他の補助金等		千円															
特定財源計 + + +		千円	140	560	560	0	0	0									
差引:一般財源 -		千円	45,040	35,034	39,743	36,252	32,231	34,928									
受益者負担比率 ÷		%	0.3	1.6	1.4	0.0	0.0	0.0									

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 67

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		国際友好交流都市訪問	2	回	7,155
		国内交流自治体訪問	4	回	1,008
		その他 ()			0

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成元年に群馬県東吾妻町(旧吾妻町)、北海道名寄市(旧風連町)と交流を始め、現在は、新潟県小千谷市と福島県南相馬市、福島県北塩原村と交流しています。区役所1階に開かれたコミュかるショップ(交流協会運営)では、区役所開庁時には、交流都市の特産物を購入できます。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	小中学生交流や自然体験などの教育分野、物産展や特産物のあつ旋などの産業・経済分野、保養地などの観光分野での交流を進めてほしい。
	今後の予測	交流自治体のPRや新たな事業の構築により、様々分野での、市民レベルの交流が活性化されます。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 中(理由)	左の理由または具体的内容 友好都市との提携により、定期的・継続的に他都市の住民との交流の機会を作り出しています。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	行政主導の交流推進から、市民レベルでの交流推進を図るためには、交流協会の機能を高めていくことにより向上が期待できます。	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	中高校生交流会における派遣・受入では、一部自己負担を求めて実施しています。	
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	必要最低限のコストで実施しています。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題
各交流都市の特産物即売会が区内で行われ、多くの区民が購入に訪れています。これにより交流都市のPRが図られ、関心を持つ区民が増えています。今後は、市民レベルでの交流や交流先団体の地域・経済活性化などを視野に入れた交流に取り組んでいく必要があります。また、各都市との協定は、友好や交流、防災、保養地と様々な目的で締結されていますが、実際に展開している交流内容において差異がなくなりつつある中で、整理・見直しを行っていきます。その際、都市と農村がお互いを支えあう関係づくりを目指します。

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	コスト: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 市民レベルの交流推進を図るためには、参加したくなる魅力ある交流メニューを構築する必要があります。杉並区・交流都市双方に有益な交流を行うため、21年度は新たなメニューを検討し、次年度実現の道筋を作ります。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 交流協会の機能充実化を図り、市民レベルの国内交流を担う組織となるよう協働していきます。交流自治体の農産物の学校給食への食材提供等、可能なことは、21年度中にも実施していきます。	
22年度方針	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 交流都市との十分な協議により、意思疎通、共通認識を図り、関連各課との連携、協力も不可欠です。さらに、交流協会の組織の充実も必要です。	
	(1)22年度予算見積の方向性	○ 大幅増 ● 増 ○ 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし
	(2)理 由 ウイロビー市との交流20周年事業の実施と、都市と農村の共生事業に係る経費計上が必要です。	

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	杉並区交流協会助成	款	3	項	1	目	2	事業	4	整理番号	68	
担当部課名	区民生活部文化・交流課	係名	交流推進担当			連絡先電話番号	2284		昨年度整理番号	110	枝番号	
上位施策No・施策名	68 交流と平和の推進						予算事業区分					

事業開始	平成	▼	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業	
対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 杉並区交流協会補助金交付要綱					
区民、交流団体				(2)							
事務事業の概要	事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）				活動指標名(式)						
	国際交流の推進による多文化共生が構築されています。国内交流において市民レベルの草の根交流が活発に行われています。交流協会が交流事業のコーディネーターとして十分な機能、役割を担っています。				(1) 協会会員数						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
杉並区交流協会に対し、交流事業が円滑に行えるように補助金を交付する。				成果指標名(1)		協会会員数対前年度比					
				算定式・指標の説明等							
				成果指標名(2)		事業参加者					
				算定式・指標の説明等							

区分	単位	18年度		19年度		20年度		21年度計画	目標値22年度	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%				
		実績	計画	実績	計画	実績	計画								
指標	活動指標(1)	人	809	850	951	970	936	950	1,000	93.6	96.5				
	活動指標(2)	回	111	113	111	112	112	113	115	97.4	100.0				
	成果指標(1)	%			118	102	98	0	0	0.0	96.1				
	成果指標(2)	人	1,398	1,450	1,475	1,500	1,235	1,400	1,500	82.3	82.3				
総事業費・コスト把握	事業費	千円	31,006	37,616	32,030	35,136	25,936	33,375	20年度予算執行率% 73.8						
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0				特記事項						
	(内)委託費	千円	0	0	0	0	0	0							
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.02 0.00	0.02 0.00	0.02 0.00	0.02 0.00	0.02 0.00	0.02 0.00							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	181	183	183	181	181				181			
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				0			
	総事業費 + +	千円	31,187	37,799	32,213	35,317	26,117	33,556							
	単位あたりコスト (-) ÷	円	38,550	44,469	33,873	36,409	27,903	35,322							
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0									
		国からの補助金等	千円	0	0	0									
		都からの補助金等	千円	/	/	/									
その他の補助金等		千円	/	/	/										
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源 -		千円	31,187	37,799	32,213	35,317	26,117	33,556							
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 68

		内 容	規模	単位	事業費(千円)
20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	交流協会助成			25,936
	その他 ()				0
	(2)事業実績	杉並区の外国人が、地域の中で、地域の一員として生活できるよう、友達づくり、日本文化の紹介、生活相談など多様な事業を実施し、多くの参加者を得ています。また、日本人と外国人が自由に交流できる場として、国際交流サロンを開設しており、市民同士の国際交流が活発に行われています。これらの国際交流事業に、国内交流に係る事業経費を併せて助成しています。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	様々な国籍の方が参加する多様な事業の実施により、国際文化への理解が進んできています。また、農のあるまちへの回帰意識が高まってきており、国内における市民レベルでの交流を望む気運が高まってきています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	多文化を理解し、人と人がふれあい、体験のできる交流の機会を拡充してほしい。			
	今後の予測	交流都市間において、様々な分野での市民レベルの交流が活発に行われます。			
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	左の理由または具体的内容 区からの補助金による協会事業は円滑に行われており、区民の交流活動に寄与しています。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	既存事業の効果を検証し、スクラップアンドビルドにより、区民が求めている、そして時代に即した事業を実施していきます。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	個々の事業内容を精査し、参加費の見直しを図ります。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	平成18年度の協会分離に伴い、専門性を高め組織体制と事業の見直しが図られ、必要最低限のコストで運営しています。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)			
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	多様な事業の実施により、国際・国内交流の推進に寄与していますが、国内交流事業に対して国際交流事業の占める割合が高いのが現状です。今後は、国内交流自治体と、民間団体ならではの蓄積されたノウハウ、企画力を発揮して、「農」「食」の分野、そして人の交流など多様なニーズに応えていくことが望まれます。そのためにも、区としては、交流協会との連携を蜜にし、組織機能の拡充も含め、支援していきます。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	● 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	国内交流都市との市民レベルでの交流の推進役を担っている状況には達していません。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 21年度に、国内交流都市において、市民レベルの新たなスポーツ交流事業が計画されています。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	市民レベルの国内交流を推進していくためには、交流協会自体の組織強化が必要です。							
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	区補助金依存の事業運営の中では、限られた費用で、時代のニーズに即した事業実施が必要です。							

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		子ども国内交流事業			款	4	項	2	目	1	事業	35	整理番号	280			
担当部課名		保健福祉部児童青少年課			係名	事業係			連絡先電話番号	4402			昨年度整理番号	359 枝番号			
上位施策No・施策名		68 交流と平和の推進			予算事業区分												
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	2	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野			政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			区内在住の小学生(1~4年生)、中学生			根拠法令等	(1) 杉並区都市交流事業 (2)								
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	子ども同士の交流を通して、友好都市の文化、生活、風土等の理解を深めることにより、児童の健全育成を図ります。			活動指標名(式)			(1) 参加者数 (2)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	区内在住の小学4年生~6年生を対象に北海道名寄市との交流会(7月8月に3泊4日を2行程、25名)及び、群馬県東吾妻町との交流会(8月に2泊3日、30名)を実施 区内在住の中学生を対象に北海道名寄市との交流会(12月に3泊4日、25名)を隔年実施			成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標			成果指標名(1) 応募者数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等									
区分		単位	18年度		19年度				20年度				21年度	目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%	
			実績		計画		実績		計画		実績		計画	22年度			
指標	活動指標(1)		人	55		80		75		55		55		80	55	100.0	100.0
	活動指標(2)																
	成果指標(1)		人	103		110		97		100		138		120	100	138.0	138.0
	成果指標(2)																
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,025		5,844		4,812		3,532		3,209		5,610	20年度予算執行率% 90.9		
	(内)投資的経費等		千円	0		0		0							特記事項		
	(内)委託費		千円	0		0		0		0		0		0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.20	0.00	1.20	0.00	0.82	0.00	0.76	0.00	0.82	0.00	0.80			0.00
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	10,872		10,968		7,495		6,878		7,421		7,240			
		(内)非常勤職員分	千円	0		0		0		0		0		0			
	総事業費 + +		千円	13,897		16,812		12,307		10,410		10,630		12,850			
	単位あたりコスト (-)÷		円	252,673		210,150		164,093		189,273		193,273		160,625			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0				0
		国からの補助金等		千円	0		0		0		0		0				0
都からの補助金等		千円	/		/		/		/		/						
その他の補助金等		千円	/		/		/		/		/						
特定財源計 + + +		千円	0		0		0		0		0		0				
差引:一般財源 -		千円	13,897		16,812		12,307		10,410		10,630		12,850				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 280

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		杉並区・名寄市風連町子ども交流会(夏季)	2	回	2,715
		杉並区・東吾妻町子ども交流会	1	回	494
		その他()			0

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	この2年間、小学生の交流会は名寄市、東吾妻町とも応募者数は増加傾向にあります。名寄市との中学生交流は、14年度以降隔年実施となっており、参加者は、名寄市側の中学生の参加が減少傾向にあり相互交流の観点から課題となっています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	参加者のアンケートではどの交流会とも、概ね「よい経験になった」「交流事業は貴重な体験の場」と、前向きな事業評価と事業継続の期待が寄せられています。
	今後の予測	各交流会とも、杉並区側からの応募者数は横ばいで、定員を超えると予測されています。中学生の名寄市との交流会は、名寄市の中学生の参加はますます減少傾向になると予測されます。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	左の理由または具体的内容 他都市の子ども同士が生活を共有する事業は、他に見られないものです。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	例年の事業を実施していく中で、より子どもたちの実情に合わせ、交流が進むような創意工夫がなされています。 事前の打ち合わせ会を行っていますが、学生ボランティアが適切な集団援助ができるように事前の打ち合わせの中に研修的要素を入れていくことを検討しています。	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	自治体交流であるという点と、応募者数減少を避けるためには、現在の参加費が適正と考えています。	
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	安全管理に直結するボランティア人数確保と費用対効果が考えられている現在のプログラム内容から、コストダウンは難しいと思われます。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	参加者保護者に食事のプログラムの協力を得ることで、より自治体交流への理解が深まっています。また、学生ボランティアに適正人数居力を得ることで、安全確保が図られています。今後は、安定したボランティアの確保が課題となっています。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 区立小学校の全対象児へのPRの結果、応募者数減少には歯止めがかかりました。また、冬の中学生交流会の見直しは今年度中に結論を出す予定となっています。
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 冬の中学生交流会の見直しに関連して、夏の交流会の対象、時期を再確認しています。
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 21年度が風連地区の特例区最終年となるため、22年度以降の名寄市の意向が未確定な部分があります。	
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2)理由 安全管理に直結するボランティア人数確保と費用対効果が考えられている現在のプログラム内容から、現状維持の予定です。	